

うつつのみや路物語

宮ストリートストリート

みち路の数だけ物語がある。うつつのみやの路を紹介します。



オリオン通り 曲師町
商業協同組合
理事長
長谷川 正さん

オリオン通り

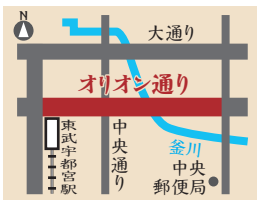
オリオン通りは、曲師町・江野町・一条町の3町内を貫くことから、オリオン座のベルトの部分に当たる三ツ星に見立てて名付けられました。

左上の写真は、昭和30年ごろのものですが、当時は、煌々^{くわんくわん}と輝きを放つネオンアーチが頭上に連なっていました。羽衣をかたどったネオンサインは、東洋随一と称賛されるほど。そんな華やかなネオンでしたが、非常に壊れやすいものでした。屋根が無いので雨が

降ればショートを起こすこともしばしば。点灯作業は手作業で当番制。点灯しようとしてもなかなかつかなかったり、所々消えている部分もあったり。それでも、アナログならではの味がありました。



宇都宮商工会議所七十年史より



写真上：昭和30年ごろ。
下：現在。

オリオン通りは当時、大通りに対する裏通りといわれていました。ネオンを設置したのも、たくさんのお客さんに足を運んでもらうため。その後も、有名人の手形を道路に並べた「スターロード」の整備や「オリオンジャズ」を仕掛けるなど、先進的な取り組みで通りをにぎわせてきました。今月中旬からは、「フラッグアート」を開催します。たくさんさんのフラッグがアーケードに連なる様は壮観ですので、ぜひ、足を運んでください。オリオン通りに行けば、いつも何か新しいことをやっている。そんな風景が日常になってほしい。これからもオリオン通りは宇都宮の顔であり続けてほしいですね。